

主体的な学び手を育てる 授業づくりと教師の学び方改革

子どもが主体的な学び手になるためには、教師が「教える」ことだけでなく、子ども自身が「学び方」を身につけ、自ら学習を調整できる授業をつくることが重要です。そして、そのためには教師自身の学び方も変わる必要があります。本講演では、学習方略や自己調整学習、探究的な学びなどの知見をもとに、個別最適な学びと協働的な学びをどのように実現するのかを考えます。さらに、教師同士が実践から学び合い、自ら授業を改善していくための「教師の学び方改革」について、具体的な実践例を交えながら提案します。



【講師プロフィール】

前田康裕（まえだ・やすひろ）

熊本大学大学院教育学研究科特任教授
公立小中学校教諭として25年間、ICTを活用した授業及び探究型学習の研究を行ってきた。現職教師を務めながら岐阜大学大学院教育学研究科を修了。その後、教育センター指導主事、小学校教頭、熊本大学准教授、教育センター主任指導主事を経て現職。文部科学省学校DX戦略アドバイザー。

著書に『まんがで知る 教師の学び』『まんがで知る 未来への学び』『まんがで知るデジタルの学び』（さくら社）など。



前田康裕著『まんがで知る学習方略』（さくら社）